

# 令和3年度シラバス (教科・科目：芸術・音楽Ⅱ)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制午前・夜間	単位数	必履修・選択
午前	2	選択

教科書	学習書・他教材
『高校生の音楽2』 (教育芸術社)	なし

学習目標
歌唱、器楽などの表現活動と鑑賞や創作の活動を通して、技術の向上を図り、個性豊かな表現能力を身につけ、音楽を愛好する心情を育てる。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲
表現 (歌唱・器楽)	<歌唱>「糸」「何度でも」「Imagine」「見上げてごらん夜の星を」の題名の上にならされているテーマを基に、曲にあった表現を工夫する。	実技テスト <歌唱>独唱1曲
鑑賞	<器楽>ギターとメロディ (歌かリコーダー) の合奏活動を通して、アンサンブルのために必要な要素を提示 (テンポ、強弱等) し、表現の工夫をする。	<器楽>合奏1曲 アンサンブル1曲
創作・楽典 (35)	<鑑賞>オペラやミュージカルの鑑賞 劇音楽についての説明、登場人物の役柄と声域の違いによる描写の聴き比べ、作曲家と作品の理解を深める。 <楽典>カノンの構造について理解すると同時に少人数でヴォーカルアンサンブルに挑戦する。	その他 授業で配布したプリントの提出。
表現 (歌唱・器楽)	<歌唱>合唱曲の練習をする中で、各パートの音を聞きあわせて、ハーモニーを味わいながら曲にあった表現を工夫する。	実技テスト <歌唱>合唱1曲 重唱1つ
鑑賞	<器楽>和楽器、ハンドベルなどの楽器の奏法を身につけて曲にあった表現の工夫をしながらアンサンブルする。 ギターの弾き語りにも挑戦する。	<器楽>アンサンブル1曲 弾き語り1曲
(35)	<鑑賞>表現活動と連動しながら、日本の伝統音楽について学ぶ。	その他 授業で配付したプリントの提出。

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業に意欲的、積極的に取り組んでいるか。	作曲家の意図するに對する思いを感じ取って鑑賞し、表現活動に生かされているか。	発声、奏法の技能をさらに高め、さらに自分なりに工夫しているか。	楽譜に書かれている記号などを正しく理解して個性的な表現活動に生かされているか。
実技テストとプリントの提出の他に、技術の向上のために意欲的、積極的な授業の取り組み態度を総合的に評価する。			

授業の進め方、課題・提出物など
教科書を中心に表現、鑑賞、創作活動をする。 宿題はないが、プリント学習やワークシートを行うので、しっかり取り組んで必ず提出すること。

担当者からのメッセージ
音楽Ⅰの内容を踏まえ、発展的に学習していきます。歌・器楽演奏など個人・グループでいろいろなジャンルの音楽を学び演奏します。